

第99回 中小企業景況調査報告書

7月～9月の実績と
10月～12月の見通し

■ 今期調査の景況キーワード

前年同期比売上D I値は▲10.5で、小売業、卸売業で増加したが、製造業、建設業、サービス業は減少し、全業種では前期調査時より1.5ポイントの減少となった。来期見通し売上D I値は▲29.5で、今期よりさらに19.0ポイントの減少を予測している。来年3月に中小企業金融円滑法が終了する予定であることから、金融支援を受けたが経営改善が進まなかった企業の動向を注視したい。景況のキーワードとしては「需要の停滞」「ニーズの変化」「単価の低下」が挙げられる。

■ 調査時点 平成24年 9月30日

■ 対象業種

製造業 25社(17) 建設業 24社(22)
卸売業 18社(15) 小売業 27社(18)
サービス業 26社(25) 合計 120社(97)
※()内は回答企業数

■ 回答率 80.8%

概況

◆ 売上状況(前年同期比)では、売上D I値は▲10.5を示し前期調査時より1.5ポイント減少した。業種別では前期調査時より、製造業▲4.4ポイント、建設業13.9ポイント、卸売業7.6ポイント、小売業▲24.2ポイント、サービス業で▲8.9となった。来期見通しD I値は▲29.5で、今期調査時より19.0ポイントの減少を予測している。

◆ 採算水準(前年同期比)では、採算D I値は▲19.8で、前期調査時より2.6ポイント悪化した。業種別では前期調査時より、製造業▲18.9ポイント、建設業▲5.6ポイント、卸売業6.6ポイント、小売業13.4ポイント、サービス業▲3.8ポイントとなった。

◆ 来期見通しD I値は、▲34.7で前期調査時より14.9ポイントの減少を予測している。

◆ 仕入単価(前年同期比)では、仕入D I値は▲15.8で、前期調査時より7.7ポイントと悪化した。業種別では前期調査時より、製造業で±0ポイント、建設業▲2.4ポイント、卸売業で6.6ポイント、小売業▲22.9ポイント、サービス業で▲25.0ポイントとなった。来期見通しD I値は▲20.0で今期調査時より4.2ポイント悪化を予測している。

◆ 資金繰り(前年同期比)では、資金繰りD I値は▲23.1を示し前期調査時より10.0ポイント悪化した。業種別では前期調査時より、製造業で▲12.9ポイント、建設業▲14.2ポイント、卸売業▲6.7ポイント、小売業▲9.8ポイント、サービス業で▲3.5ポイントと全ての業種で悪化した。来期見通しD I値は、▲32.7で今期調査時より9.6ポイントとさらなる悪化を予測している。

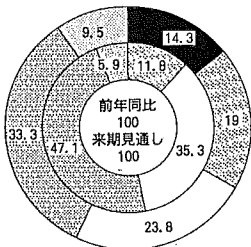
◆ 業界の状況(前年同期比)では、D I値▲45.3で、前期調査時より0.2ポイントとほぼ同数値を示した。業種別では前期調査時より、製造業で▲15.9ポイント、建設業20.2ポイント、卸売業13.3ポイント、小売業▲9.9ポイント、サービス業で6.1ポイントとなった。来期見通しのD I値は▲45.2で、今期調査時よりの0.1ポイント好転を予測している。

◆ 設備投資では、今期実施した企業は20%で、来期の設備投資を計画している企業は21%であった。経営上の問題点としては、製造業では「製品ニーズの変化」「原材料費・人件費以外の経費の増加」「新規参入事業者の増加」建設業では「請負単価の低下・上昇難」「官公需要の停滞」「民間需要の停滞」卸売業では「人件費以外の経費の増加」「新規参入事業者の増加」「需要の停滞」小売業では「仕入単価の上昇」「消費者ニーズの変化」「販売単価の低下」「購買力の流出」サービス業では「利用者ニーズの変化」「需要の停滞」「利用者料金の低下・上昇難」となっている。

※業種別売上(内円は前年同期比、外円は来期見通し)

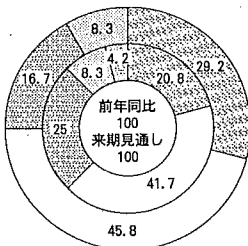
▼ 建設業

かなり増加
やや増加
変わらない
やや減少
かなり減少
回答なし



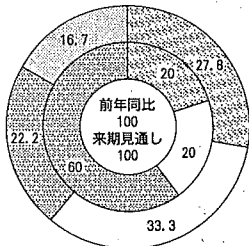
(単位：%)

▼ サービス業



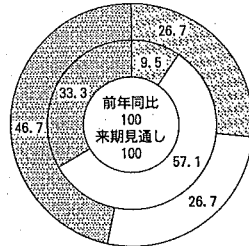
(単位：%)

▼ 小売業



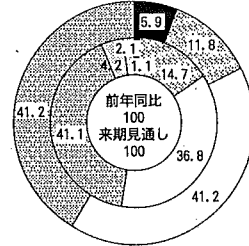
(単位：%)

▼ 卸売業



(単位：%)

▼ 製造業



(単位：%)